

平成29年度 里地里山活動状況アンケート 結果（認定団体）

回答数

	数	割合 (%)	割合(2) %
回答あり	19	82.6	83
回答なし	4	17.4	17
計	23	100.0	100

※割合100%整数化

団体の運営等について

Q1 活動開始年について

年代	数	割合 (%)	割合(2) %
昭和	0	0.0	0
平成8年	1	5.3	5
平成9年	0	0.0	0
平成10年	0	0.0	0
平成11年	0	0.0	0
平成12年	1	5.3	5
平成13年	1	5.3	5
平成14年	1	5.3	5
平成15年	0	0.0	0
平成16年	1	5.3	5
平成17年	1	5.3	5
平成18年	1	5.3	5
平成19年	0	0.0	0
平成20年	3	15.8	16
平成21年	0	0.0	0
平成22年	1	5.3	5
平成23年	2	10.5	12
平成24年	1	5.3	5
平成25年	2	10.5	12
平成26年	1	5.3	5
平成27年	1	5.3	5
平成28年	0	0.0	0
平成29年	0	0.0	0
未回答	1	5.3	5
計	19	100.4	100

Q2 会員数について

	人	数	割合 (%)	割合(2)%
0 以上	10 未満	2	10.5	11
10 以上	20 未満	8	42.1	42
20 以上	40 未満	2	10.5	11
40 以上	60 未満	5	26.3	26
60 以上	80 未満	1	5.3	5
80 以上	100 未満	0	0	0
100 以上	120 未満	1	5.3	5
計		19	100.0	100

Q3 会費について

	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 有	9	47.4	47
2. 無	10	52.6	53
3. 未回答	0	0	0
計		19	100

【1. 選択の場合】円/年

回答数: 11

円/年	数	割合 (%)	割合(2)%
1,000	6	54.5	55
2,000	1	9.1	9
6,000	2	18.2	18
無で記載	2	18.2	18
計		11	100

【無で記載のあった内容】

※総会時のみ茶代は集める
団体は30000円

Q4 年間活動予算について

	円	数	割合 (%)	割合(2)%
0 以上	100,000 未満	1	5.3	5
100,000 以上	200,000 未満	0	0	0
200,000 以上	400,000 未満	6	31.6	32
400,000 以上	600,000 未満	4	21.1	21
600,000 以上	800,000 未満	2	10.5	11
800,000 以上	1,000,000 未満	3	15.8	16
1,000,000 以上	1,500,000 未満	1	5.3	5
1,500,000 以上	2,000,000 未満	0	0	0
2,000,000 以上	2,500,000 未満	0	0	0
2,500,000 以上	3,000,000 未満	0	0	0
3,000,000 以上	3,500,000 未満	1	5.3	5
3,500,000 以上	4,000,000 未満	0	0	0
4,000,000 以上	5,000,000 未満	1	5.3	5
計		19	100.2	100

Q5 年間の活動日数等について

	日/年	数	割合 (%)	割合(2)%
0 以上	25 未満	1	5.3	5
25 以上	50 未満	9	47.4	48
50 以上	75 未満	2	10.5	11
75 以上	100 未満	1	5.3	5
100 以上	150 未満	1	5.3	5
150 以上	200 未満	0	0	0
200 以上	250 未満	2	10.5	11
250 以上	300 未満	1	5.3	5
300 以上	350 未満	0	0	0
350 以上	400 未満	1	5.3	5
	その他	1	5.3	5
	計	19	100.2	100
【その他内容】				
活動内容による				

Q6 年間の活動延べ人数について

	人	数	割合 (%)	割合(2)%
0 以上	50 未満	0	0	0
50 以上	100 未満	1	5.3	5
100 以上	250 未満	6	31.6	33
250 以上	500 未満	3	15.8	16
500 以上	750 未満	5	26.3	26
750 以上	1,000 未満	1	5.3	5
1,000 以上	1,500 未満	1	5.3	5
1,500 以上	2,000 未満	0	0	0
2,000 以上	2,500 未満	0	0	0
2,500 以上	3,000 未満	1	5.3	5
	(未回答)	1	5.3	5
	計	19	100.2	100

Q7 土地所有者は活動団体に加入していますか？

	数	割合 (%)	割合(2)%
1. はい	18	94.7	95
2. いいえ	1	5.3	5
3. 未回答	0	0.0	0
	計	19	100

Q8 土地所有者との面会の頻度について

	回/年	数	割合 (%)	割合(2)%
0		1	5.3	5
1		1	5.3	5
2		5	26.3	26
3		1	5.3	5
4		0	0	0
5 以上	10 未満	0	0	0
10 以上	15 未満	2	10.5	11
15 以上	20 未満	2	10.5	11
20 以上	25 未満	3	15.8	15
	(未回答)	2	10.5	11
	その他	2	10.5	11
	計	19	100	100
【その他内容】				
必要なときにいつでも				
1年中(自分自身が土地所有者)				

Q9 [※本質問は活動中に相続・売買等により土地の所有者が変わったことがあるという団体に伺います。]

土地所有者が変わった際、新しい所有者は活動に対し理解がありましたか？

	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 理解があり継続して活動を行うことができた	8	57.1	57
2. 活動継続に至らなかった	1	7.1	7
3. その他	0	0	0
4. 未回答	5	35.7	36
計	14	99.9	100
【1.の参考記述】			
新しい所有者にも会員になってもらった			

Q10 活動の様子やイベント等をどういった手段で広報していますか？（いくつでも）

※複数回答可		数	割合 (%)	割合(2)%
1. 会報発行		2	7.1	7
2. HP、SNS等		6	21.4	21
3. 市町村の広報誌やタウン誌等		10	35.7	36
4. 特に広報をしていない		5	17.9	18
5. その他		5	17.9	18
6. 未回答		0	0	0
計		28	100	100
会報発行頻度(回/年)				
回/年		数	割合 (%)	割合(2)%
3		1	50	50
6		1	50	50
計		2	100	100
その他(内容)				
※複数記述		数	割合 (%)	割合(2)%
自治会等、地域回覧		3	60	60
ハガキ、案内状、ポスター		1	20	20
地域のまつりで		1	20	20
計		5	100	100

Q11 団体としての活動内容を教えてください。（主な活動の上位3項目の番号を記入）

1位	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 農業生産	7	36.8	38
2. 耕作放棄地対策	5	26.3	26
3. 森林整備	2	10.5	11
4. 景観保全	1	5.3	5
5. 有害鳥獣駆除	1	5.3	5
6. 災害防止	0	0.0	0
7. 自然観察・生物調査	0	0.0	0
8. 生態系の保全	0	0.0	0
9. 環境教育	0	0.0	0
10. 農林業体験	1	5.3	5
11. 里山文化保全	0	0.0	0
12. 都市と農山村の交流	0	0.0	0
13. 生活環境保全	0	0.0	0
14. 自治会活動	0	0.0	0
15. 余暇活動	0	0.0	0
16. 知識/技術の継承	0	0.0	0
17. 健康の維持増進	0	0.0	0
18. 市民活動/ボランティア講座	1	5.3	5
19. 憩いの場/散策路等整備	0	0.0	0
20. 学校連携	1	5.3	5
21. その他	0	0.0	0
22. 未回答	0	0.0	0
計	19	100.1	100

2位	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 農業生産	2	10.5	11
2. 耕作放棄地対策	5	26.3	26
3. 森林整備	1	5.3	5
4. 景観保全	3	15.8	16
5. 有害鳥獣駆除	1	5.3	5
6. 災害防止	0	0.0	0
7. 自然観察・生物調査	0	0.0	0
8. 生態系の保全	2	10.5	11
9. 環境教育	1	5.3	5
10. 農林業体験	0	0.0	0
11. 里山文化保全	0	0.0	0
12. 都市と農山村の交流	3	15.8	16
13. 生活環境保全	0	0.0	0
14. 自治会活動	0	0.0	0
15. 余暇活動	0	0.0	0
16. 知識/技術の継承	0	0.0	0
17. 健康の維持増進	0	0.0	0
18. 市民活動/ボランティア講座	0	0.0	0
19. 憩いの場/散策路等整備	0	0.0	0
20. 学校連携	1	5.3	5
21. その他	0	0.0	0
22. 未回答	0	0.0	0
計	19	100.1	100

3位	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 農業生産	0	0.0	0
2. 耕作放棄地対策	0	0.0	0
3. 森林整備	0	0.0	0
4. 景観保全	3	15.8	16
5. 有害鳥獣駆除	1	5.3	5
6. 災害防止	0	0.0	0
7. 自然観察・生物調査	3	15.8	16
8. 生態系の保全	1	5.3	5
9. 環境教育	0	0.0	0
10. 農林業体験	1	5.3	5
11. 里山文化保全	3	15.8	16
12. 都市と農山村の交流	1	5.3	5
13. 生活環境保全	1	5.3	5
14. 自治会活動	2	10.5	11
15. 余暇活動	1	5.3	5
16. 知識/技術の継承	0	0.0	0
17. 健康の維持増進	0	0.0	0
18. 市民活動/ボランティア講座	0	0.0	0
19. 憩いの場/散策路等整備	0	0.0	0
20. 学校連携	2	10.5	11
21. その他	0	0.0	0
22. 未回答	0	0.0	0
計	19	100.2	100

1～3位の合計	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 農業生産	9	15.8	15
2. 耕作放棄地対策	10	17.5	18
3. 森林整備	3	5.3	5
4. 景観保全	7	12.3	12
5. 有害鳥獣駆除	3	5.3	5
6. 災害防止	0	0.0	0
7. 自然観察・生物調査	3	5.3	5
8. 生態系の保全	3	5.3	5
9. 環境教育	1	1.8	2
10. 農林業体験	2	3.5	4
11. 里山文化保全	3	5.3	5
12. 都市と農山村の交流	4	7.0	7
13. 生活環境保全	1	1.8	2
14. 自治会活動	2	3.5	4
15. 余暇活動	1	1.8	2
16. 知識/技術の継承	0	0.0	0
17. 健康の維持増進	0	0.0	0
18. 市民活動/ボランティア講座	1	1.8	2
19. 憩いの場/散策路等整備	0	0.0	0
20. 学校連携	4	7.0	7
21. その他	0	0.0	0
22. 未回答	0	0.0	0
計	57	100.3	100

Q11また、活動のきっかけやキーワードとなるものに○をつけてください(いくつでも)

※複数回答可	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 農業生産	12	10.8	11
2. 耕作放棄地対策	13	11.7	12
3. 森林整備	5	4.5	5
4. 景観保全	9	8.1	8
5. 有害鳥獣駆除	3	2.7	3
6. 災害防止	1	0.9	1
7. 自然観察・生物調査	9	8.1	8
8. 生態系の保全	6	5.4	5
9. 環境教育	6	5.4	5
10. 農林業体験	6	5.4	5
11. 里山文化保全	6	5.4	5
12. 都市と農山村の交流	6	5.4	5
13. 生活環境保全	4	3.6	3
14. 自治会活動	3	2.7	3
15. 余暇活動	3	2.7	3
16. 知識/技術の継承	2	1.8	2
17. 健康の維持増進	4	3.6	3
18. 市民活動/ボランティア講座	3	2.7	3
19. 憩いの場/散策路等整備	5	4.5	5
20. 学校連携	5	4.5	5
21. その他	0	0.0	0
22. 未回答	0	0.0	0
計	111	99.9	100

Q12 活動の後継者はいますか。

	数	割合 (%)	割合(2) %
1. はい	8	42.1	42
2. いいえ	11	57.9	58
3. 未回答	0	0.0	0
計	19	100.0	100

Q13 後継者育成の取組を行っている場合は、その内容をご記入ください。

回答数：6

イベント時に入会促進PR
フォーラムへの参加
各活動について、会員外の者に周知し、取組について理解を図っている
各活動に参加することによってその意義を十分理解して頂く事が育成につながっている
常に心掛けをしている
農地・山林・竹林地の保全再生整備、鳥獣害対策、技術を要する指導

Q14 里地里山活動団体同士の連携等がありますか？（いくつでも）

※複数回答可			
	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 作業に関するアドバイスや技術等の提供を受けている	2	9.1	9
2. 作業に関するアドバイスや技術等を提供している	2	9.1	9
3. 機材の貸し借りをしている	3	13.6	14
4. 活動事例を参考にするための研修等の人的交流	4	18.2	18
5. 特にない	10	45.5	45
6. その他	1	4.5	5
7. 未回答	0	0	0
計	22	100.0	100
その他(内容) ※「5.特にない」の回答で、記述のあったもの含む 会員も仕事を持っており、あえて調整してまでは話していない 休耕地を会員が管理、機材等も貸出し			

活動計画について

Q15 活動計画等の策定にあたり活動場所の調査を実施しましたか？

	数	割合 (%)	割合(2) %
1. はい	14	73.7	74
2. いいえ	5	26.3	26
3. 未回答	0	0.0	0
計	19	100.0	100

内容	※複数回答可	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 土地所有者		10	20.4	20
2. 隣接地の様子		7	14.3	15
3. 交通の便		2	4.1	4
4. 地形		3	6.1	6
5. 地質		0	0.0	0
6. 土壌		1	2.0	2
7. 湧水		0	0.0	0
8. 災害危険箇所		3	6.1	6
9. 農作物		7	14.3	15
10. 樹木		4	8.2	8
11. 草花		4	8.2	8
12. きのこと		0	0.0	0
13. 哺乳類		1	2.0	2
14. 小動物		3	6.1	6
15. 鳥類		2	4.1	4
16. 爬虫類		0	0.0	0
17. 両生類		0	0.0	0
18. 魚類		0	0.0	0
19. 昆虫		1	2.0	2
20. その他		0	0.0	0
21. 未回答		1	2.0	2
計		49	99.9	100

調査をした方	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 会員	11	84.6	85
2. 会員以外の外部専門家	0	0.0	0
3. 会員及び外部専門家	2	15.4	15
4. 未回答	0	0.0	0
計	13	100	100

Q16 目標とする里地里山のイメージがありますか？ある場合、それはどのようなものですか？

	数	割合 (%)	割合(2)%
1. はい	14	73.7	74
2. いいえ	5	26.3	26
3. 未回答	0	0.0	0
計	19	100.0	100
【1.ある場合】			
[イメージの内容, キーワード]	数	割合 (%)	割合(2)%
原風景の保全、景観の維持、環境整備	9	75	75
農地復元、耕作放棄地対策	2	16.7	17
有害鳥獣	1	8.3	8
計	12	100	100
【1.ある場合】 イメージの内容 回答数： 15			
景観維持活動			
最終的には、いつでも誰もが作業に入れるような活動			
風光明媚			
消滅したヤマユリや花ショウブの再生			
昔の子ども文化の継承			
荒廃遊休地を昔ながらの姿に戻し、その土地を活用し、地域の活性化を図る			
春めき桜の植樹、河川整備			
かつてこの地区は人々の心を和ませる景観があった。有害鳥獣の被害箇所が増え、農地の保全・活用が困難になり景観が悪化している			
原風景の保全、環境整備			
この里に息吹を！この地域の活性化に多くの人の意見を求めている			
四季折々に花木が見られる、又景観が良く様々な人が来て癒せる場所としての、現在より更に再生・保全・整備が行き届いている里地里山を			
常に里山が整備されており、荒廃地が見られず、牧場のような景観			
農地の復元及び維持			
耕作放棄地対策として常に整備したい			
【2.いいえ での記述】			
(どのように進めていったらいいのか模索中)			

Q17 目標とする里地里山のイメージがある場合、それは何年後のイメージですか？

	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 既に整備済	4	26.7	26
2. 作業直後	1	6.7	7
3. 1～2年後	1	6.7	7
4. 3～5年後	1	6.7	7
5. 5年後以降	5	33.3	33
6. 未回答	2	13.3	13
その他	1	6.7	7
計	15	100.1	100

※Q16で、「2.いいえ」で(イメージを模索中)とした団体が、その目標を5年後以降と回答しているため、「1.はい」の合計数と合わない

【その他内容】 ※選択肢以外の記述

(選択肢以外)

有害鳥獣の被害が日を追うごとに増えてしまっている。これらに対し他地域を含めた対策を講じない限り本来の里地里山の維持の見通しは立たない

Q18 団体が整備したあとの里地里山を使った活動 又は 既に整備済みの里地里山を利活用されている場合はその活動内容等を教えてください。

対象者	※複数回答あり	数	割合 (%)	割合(2) %
市民、県民、都市住民		5	31.3	31
観光客		2	12.5	13
園児・児童		3	18.8	19
会員		3	18.8	19
ボランティア		1	6.3	6
各種団体		1	6.3	6
退職した方		1	6.3	6
計		16	100.3	100

【活動内容のキーワード】	※複数回答あり	数	割合 (%)	割合(2) %
里山体験活動、体験学習、遊び、食育		6	33.3	33
里山体験活動実践指導		1	5.6	6
まつり		2	11.1	11
植栽、植樹、景観維持		3	16.7	16
環境整備		2	11.1	11
稲作、耕作		2	11.1	11
耕作放棄地対策		1	5.6	6
二次林整備		1	5.6	6
計		18	100.1	100

活動内容
里山エリアでの里山活動体験実施、実践指導
現在は、景観の維持が最重要と考え取り組んでいる
稲作作りを通じた体験学習
耕作放棄地の整備
①自然の中での遊び②散策
①米作り②サツマイモ・落花生・大豆・ソバ等の耕作③二次林の整備④食育
田植え、ソバの栽培、桜の植樹
森の音楽祭、キャンプ等、ハイキングコースづくり、自然探検ハイキング等
ソバ体験、ホタル鑑賞会、桜まつり
竹の子掘り体験ツアー、休耕地に桜の植栽、ざる菊によるイベント
地域のまつり開催、園内の草刈り、鑑賞樹木の剪定
ハイカー等が利用しやすい環境

活動場所について

Q19 活動場所（面積等）を教えてください。

回答数：11

箇所数	数	割合 (%)	割合(2) %
1	1	9.1	9
2	3	27.3	28
3	2	18.2	18
4	1	9.1	9
5	1	9.1	9
6	1	9.1	9
7	1	9.1	9
8	1	9.1	9
計	11	100.1	100

回答数：17

合計面積 (ha)	数	割合 (%)	割合(2) %
0.0 以上 1.0 未満	5	29.4	29
1.0 以上 2.0 未満	4	23.5	23
2.0 以上 3.0 未満	3	17.6	18
3.0 以上 4.0 未満	3	17.6	18
4.0 以上 5.0 未満	0	0.0	0
5.0 以上 15.0 未満	1	5.9	6
15.0 以上 100.0 未満	0	0.0	0
100.0 以上 110.0 未満	1	5.9	6
計	17	99.9	100

Q20 活動場所に含まれるものに○をつけてください（いくつでも）

※複数回答可	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 田(休耕田含む)	14	30.4	30
2. 畑(休耕地含む)	15	32.6	33
3. 樹園地	6	13.0	13
4. 水辺(溜池や用水路等)	6	13.0	13
5. 二次林	5	10.9	11
6. その他	0	0.0	0
7. 未回答	0	0.0	0
計	46	99.9	100

Q21 活動場所は普段、一般開放されていますか？

	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 近隣住民等が自由に散策できる	10	52.6	53
2. 常時開放はしていない（予約制等）	1	5.3	5
3. 立ち入り禁止としている（無断で入らないよう柵、看板等で注意喚起している）	4	21.1	21
4. その他	4	21.1	21
5. 未回答	0	0.0	0
計	19	100.1	100
その他(内容)			
農地の保全であり、耕作しているので開放はありません。			
自由に入れる所と、立ち入り禁止の所が混在している			
動物の侵入防止のため、活動地は柵で囲っている(入口に鍵はない)			
畑等の農地のため出入可。作物生産中は電気柵を設置する場合もある			
[[4.その他]の回答ではないが、記述のあったもの]			
一部、電機柵をつけているので注意看板をつけている			

Q22 活動場所を一般開放している場合、安全対策への取組みや考え方を教えてください。

	数	割合 (%)	割合(2) %
ビオトープ周辺の安全柵の設置	1	9.1	9
河川には、県のフェンス等があり安全	1	9.1	9
散策路等整備してあり安全	1	9.1	9
立て看板、安全への声かけ、事前に話があり使用するとき は、先ず安全第一での行動を伝えている	3	27.3	27
特になし、自己責任で、農作物を盗む不心得者もいない	5	45.5	46
計	11	100.1	100

Q23 活動場所で栽培している作物について、多い順に1から番号をつけてください。

1番	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 米や麦	11	57.9	58
2. 畑作物	4	21.1	21
3. 果樹	1	5.3	5
4. きのこと類	0	0.0	0
5. 景観作物	2	10.5	11
6. その他	1	5.3	5
7. 未回答	0	0.0	0
計	19	100.1	100

2番	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 米や麦	2	13.3	13
2. 畑作物	8	53.3	53
3. 果樹	1	6.7	7
4. きのこと類	1	6.7	7
5. 景観作物	2	13.3	13
6. その他	1	6.7	7
7. 未回答	0	0.0	0
計	15	100	100

3番	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 米や麦	0	0.0	0
2. 畑作物	1	16.7	17
3. 果樹	3	50.0	49
4. きのこと類	1	16.7	17
5. 景観作物	1	16.7	17
6. その他	0	0.0	0
7. 未回答	0	0.0	0
計	6	100.1	100

4番	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 米や麦	0	0.0	0
2. 畑作物	0	0.0	0
3. 果樹	0	0.0	0
4. きのこと類	1	50.0	50
5. 景観作物	1	50.0	50
6. その他	0	0.0	0
7. 未回答	0	0.0	0
計	2	100	100

1～6番の合計	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 米や麦	13	31.0	31
2. 畑作物	13	31.0	31
3. 果樹	5	11.9	12
4. きのこと類	3	7.1	7
5. 景観作物	6	14.3	14
6. その他	2	4.8	5
7. 未回答	0	0.0	0
計	42	100.1	100

※選択肢は6番(その他)までであるが、回答の記載は4番までしかなかった。

その他(内容)

花(百日草、コスモス、彼岸花)植栽

ロウバイ、茶

ソバ

Q24 活動場所の広さについて、該当するものに○をつけてください。

	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 広い	3	15.8	16
2. 少し広い	1	5.3	5
3. ちょうど良い	13	68.4	69
4. 少し狭い	1	5.3	5
5. 狭い	0	0.0	0
6. 未回答	1	5.3	5
計	19	100.1	100

活動内容について

Q25 農地の再生や、林地保全の整備作業の時に使用している道具を教えてください。(いくつかでも。○をしてください。)

※複数回答可	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 刈り払い機	19	25.0	25
2. チェーンソー	14	18.4	18
3. 鋸	13	17.1	17
4. 手カマ	13	17.1	17
5. 大ガマ	4	5.3	5
6. 鉋	5	6.6	7
7. その他	8	10.5	11
8. 未回答	0	0.0	0
計	76	100.0	100
その他(内容)			
※複数回答	数	割合 (%)	割合(2)%
耕運機、耕運管理機、中耕機	5	23.8	24
脱穀機	1	4.8	5
もみすり機	1	4.8	5
田植え機	1	4.8	5
発電機	1	4.8	5
運搬車	2	9.5	9
トラクター	5	23.8	24
バックホウ	2	9.5	9
ハンマーナイフモアー(トラクターにつける草刈機)	1	4.8	5
田植え道具一式	1	4.8	5
鋏	1	4.8	4
計	21	100.2	100

Q26 農作業時や整備作業時、その他の活動時に、あれば便利 又は 今後欲しいと思う機材等があれば、ご記入ください。

※複数回答可	数	割合 (%)	割合(2)%
自動耕運機又は小型耕運機	1	7.1	7
自走式刈払い機	1	7.1	7
穀物乾燥機	1	7.1	7
中型バックホウ	1	7.1	7
電動製粉機	1	7.1	7
チョッパー、チップー	3	21.4	22
枝打ち梯子	1	7.1	7
巻き上げ機	1	7.1	7
吊り上げ樹	0	0.0	0
ヘルメット	1	7.1	7
特になし	3	21.4	22
計	14	99.6	100

Q27 道具(機械類)の管理等について該当するものに○をつけてください(いくつでも)

保有の形態	※複数回答可	数	割合(%)	割合(2)%
1. 個人で購入		12	48.0	48
2. 会費等を原資に団体に購入		11	44.0	44
3. リース等		0	0.0	0
4. 未回答		2	8.0	8
計		25	100.0	100

保管場所	※複数回答可	数	割合(%)	割合(2)%
1. 個人で保管		11	52.4	53
2. 団体が所有する物置等に保管		7	33.3	33
3. 未回答		3	14.3	14
計		21	100.0	100

機械類の整備	※複数回答可	数	割合(%)	割合(2)%
1. 個人で行う		13	54.2	54
2. 団体の活動の中で行う		8	33.3	33
3. 未回答		3	12.5	13
計		24	100.0	100

Q28 作業で生じた伐採木や枝葉、草刈り後の草などをどのように処理していますか?(いくつでも)

	※複数回答可	数	割合(%)	割合(2)%
1. 燃料として利用		5	15.6	16
2. 林内に蓄積		9	28.1	28
3. ごみ処分		3	9.4	9
4. 腐葉土作り		8	25.0	25
5. クラフト材料		2	6.3	6
6. その他		5	15.6	16
7. 未回答		0	0.0	0
計		32	100.0	100

その他(内容)				
	※複数回答	数	割合(%)	割合(2)%
畑に蓄積、そのまま、現場で処理		3	60.0	60
消防署に連絡して燃やす		1	20.0	20
記載なし		1	20.0	20
計		5	100.0	100

Q29 活動の記録方法について該当するものに○をつけてください（いくつでも）

※複数回答可	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 作業日誌（毎回作成）	8	27.6	28
2. 作業日誌（ときどき作成）	2	6.9	7
3. 写真、ビデオ	18	62.1	62
4. 特に記録していない	1	3.4	3
5. その他	0	0.0	0
6. 未回答	0	0.0	0
計	29	100.0	100

安全対策について

Q30 ここ数年の間において活動中の事故（熱中症等を含む）がありましたか？

	数	割合 (%)	割合(2) %
1. あった	6	31.6	32
2. なかった	13	68.4	68
3. 不明	0	0.0	0
4. 未回答	0	0.0	0
計	19	100.0	100

Q31 [※問30で「あった」という団体に伺います。] 事故等の内容について教えてください。

負傷等の種類	※複数回答可	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 切創、刺創		1	10.0	10
2. 挫傷、打撲		2	20.0	20
3. ハチ、蛇等の咬傷等	※主にハチ	6	60.0	60
4. 虫、植物等によるかぶれ		0	0.0	0
5. 熱中症等		1	10.0	10
6. その他		0	0.0	0
7. 未回答		0	0.0	0
計		10	100.0	100

事故の発生時	※複数回答可	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 農作業中		4	50.0	50
2. 農地再生、林地保全整備中（チェーンソーの取扱い中を含む）		0	0.0	0
3. 草刈り中（刈払い機の取扱い中を含む）		4	50.0	50
4. その他		0	0.0	0
5. 未回答		0	0.0	0
計		8	100.0	100

原因として考えられること ※複数回答可	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 作業内容等の周知不足	0	0.0	0
2. 知識/技術不足	1	16.7	17
3. 周囲への不注意	4	66.7	66
4. 機材の不備、点検不足	0	0.0	0
5. その他	0	0.0	0
6. 未回答	1	16.7	17
計	6	100.1	100

Q32 活動日に実施している安全対策を教えてください

活動前にその日の活動内容、注意点を参加者全員で確認している	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 必ず実施している	16	84.2	84
2. ときどき実施	2	10.5	11
3. 実施していない	0	0.0	0
4. 未回答	1	5.3	5
計	19	100.0	100

作業中は、一定時間ごとに休憩(給水等)をとるよう声をかけている	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 必ず実施している	17	89.5	90
2. ときどき実施	1	5.3	5
3. 実施していない	0	0.0	0
4. 未回答	1	5.3	5
計	19	100.1	100

活動終了後はヒヤリ・ハットの有無など、作業の振り返りをしている	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 必ず実施している	5	26.3	26
2. ときどき実施	10	52.6	53
3. 実施していない	3	15.8	16
4. 未回答	1	5.3	5
計	19	100.0	100

Q33 整備作業実施時に、区域内に部外者が立ち入らないような対策をしていますか。

	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 対策をしている	7	36.8	37
2. 特に対策をしていない	11	57.9	58
3. 不明	0	0.0	0
4. 未回答	1	5.3	5
計	19	100.0	100

対策内容	数	割合 (%)	割合(2) %
入口に柵を作り、進入禁止としている	1	14.3	14
ホイッスルを吹いて通行人に知らせる	1	14.3	14
作業による声かけ注意	1	14.3	14
森林インストラクター作業時は100%（自己での作業時はしていない。）	1	14.3	14
活動前に確認	1	14.3	14
（記載なし）	2	28.6	30
計	7	100.1	100

〔「1.対策している」との回答ではないが、記述のあったもの〕
 （対策をしていないが）部外者が立ち入るような事例はない

Q34 傷害保険の加入の有無について教えてください。

	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 団体に加入している	8	42.1	42
2. 会員個人での加入にて対応	7	36.8	36
3. その他	2	10.5	11
4. 未回答	2	10.5	11
計	19	99.9	100

年払保険料額(円) 【※ 団体加入の金額】 円/人×人数?, 円/団体

500
600
7,000
20,000
56,760

※記載があったのは、5団体

その他(内容)

ボランティア保険	※団体加入
市のボランティア団体に登録(市町が負担)	
市の団体活動保険	

Q35 加入している保険の補償内容を教えてください（いくつでも）

※複数回答可	数	割合 (%)	割合(2) %
1. チェーンソー等動力を使う機具使用に対応	6	20.7	21
2. カマ、オノ等手動作業に対応	4	13.8	14
3. レクリエーション活動のみに対応	3	10.3	10
4. 個人での加入のため不明	1	3.4	3
5. 農作業中	9	31.0	31
6. その他	4	13.8	14
7. 未回答	2	6.9	7
計	29	99.9	100
その他(内容)			
農業労災			
ボランティア保険			
市民活動全体			
(記載なし)			

Q36 「救命講習※」の受講状況を教えてください。

※各消防本部が実施する応急処置技能講習(修了証が発行されるもの)をいいます

	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 受講したことのある会員がいる（普通救命講習）	10	52.6	53
2. 受講したことのある会員がいる（上級救命講習）	0	0.0	0
3. 受講したことのある会員はいない	7	36.8	36
4. その他	0	0.0	0
5. 未回答	2	10.5	11
計	19	99.9	100

Q37 チェーンソーや刈払い機を扱う作業を行うときの実態について教えてください。

	数	割合 (%)	割合(2) %
1. 安全衛生特別教育を受けた会員のみが機械を使用(講習を義務付けている)	3	15.8	16
2. 安全衛生特別教育を受けていない会員も機械を使用している	10	52.6	53
3. 必要に応じ団体内で安全講習会の開催や指導教育をしている	4	21.1	21
4. その他	1	5.3	5
5. 未回答	1	5.3	5
計	19	100.1	100
【3. 選択の場合】頻度(回/年) 回答数: 2			
回/年	数	割合 (%)	割合(2) %
1	1	50	50
その都度	1	50	50
計	2	100	100
その他(内容) 日常使用している会員のみが行っている			

Q38 整備作業の時に着用している防護具等を教えてください(いくつでも)。

	数	割合 (%)	割合(2) %
1. ヘルメット	11	30.6	30
2. ゴーグル(バイザー)	15	41.7	41
3. 防震手袋	2	5.6	6
4. イヤーマフ(耳栓)	1	2.8	3
5. 防護ズボン(チャップス)	1	2.8	3
6. 切創防止靴、足袋	4	11.1	11
7. 着用していない	0	0.0	0
8. その他	0	0.0	0
9. 未回答	2	5.6	6
計	36	100.2	100

Q39 「労働安全衛生法に基づく林業機械の取扱講習等※」の受講状況を教えてください。

※林業・木材製造業労働災害防止協会等が実施する刈払機等の安全衛生特別教育(修了証が発行されるもの)をいいます。

	数	割合 (%)	割合(2) %
1. (会員数の)概ね8割以上が受講済	0	0.0	0
2. 概ね半数程度	3	15.8	16
3. 2割以下	3	15.8	16
4. 受講したことのある会員はいない	9	47.4	47
5. その他	0	0.0	0
6. 未回答	4	21.1	21
計	19	100.1	100

Q40 [※問39で「受講した会員がいる」という団体にお聞きします]
受講した業務を教えてください。

※複数回答可		数	割合 (%)	割合(2) %
1. 伐木等の業務		0	0.0	0
2. チェーンソーを用いて行う伐木等の業務		5	45.5	45
3. 刈払機取扱作業		6	54.5	55
4. その他		0	0.0	0
5. 未回答		0	0.0	0
計		11	100.0	100

活動に当たっての課題

Q41 利用している支援制度(補助金や企業等による助成金等)があれば教えてください。
(県農地課の補助事業：認定協定活動団体支援事業 を除く)

回答数：1

制度名	支援内容
市里山マルチライブプランを受託し活動	里地里山の全般にわたる活動

Q42 必要だと思う支援に○をつけてください(いくつでも)。

※複数回答可	数	割合(%)	割合(2)%
1. 資金関係(各種助成金等の情報、整備作業や道具の購入資金への補助・助成金)	13	54.2	54
2. 研修会等(農業機械等の安全研修、作業指導、活動計画作成、各種調査)	8	33.3	33
3. その他	0	0.0	0
4. 未回答	3	12.5	13
計	24	100.0	100

[参考] ※分類して記載のあった回答

	数	割合(%)	割合(2)%
1. 資金関係(各種助成金等の情報)	0	0	0
2. 資金関係(各整備作業や道具の購入資金への補助・助成金)	1	25	25
3. 研修会等(農業機械等の安全研修)	1	25	25
4. 研修会等(作業指導)	1	25	25
5. 研修会等(活動計画作成)	1	25	25
6. 研修会等(各種調査)	0	0	0
7. その他	0	0	0
8. 未回答	0	0	0
計	4	100	100

Q43 県の施策について、このまま継続して欲しいと思うことに○をつけてください。(いくつでも)

※複数回答可	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 保全活動に対する補助	14	25.0	25
2. 体験活動に対する補助	10	17.9	17
3. 資機材に対する補助	14	25.0	25
4. サミット等活動団体間の情報共有や交流	7	12.5	13
5. コーディネーター制度	7	12.5	13
6. その他	3	5.4	5
7. 未回答	1	1.8	2
計	56	100.1	100
その他(内容)			
若い人の確保が難しいため、県等による体験等、広報活動等、積極的にお願いしたい			
市民に対する行事等の啓発補助			
なし			

Q44 県の施策について、改善して欲しいと思うことを記載してください。

回答数：7

内容	理由
活動資金の確保について	県補助金の額の算出について、H26年度の制度改正で事業着手から5年を超える活動団体が行う農林地の保全及び再生については標準単価に0.8を乗じたものとなっているが、 <u>事業着手して5年を超える団体も活動資金を確保することに苦労しているため、標準単価に0.8を乗じる算出方法を廃止し、当初の制度に戻してもらいたい。</u>
補助金の使用内容を拡大してほしい	里山の景観や農地の保全に当たり、 <u>獣害の被害対策を行わなければ農地を守ることが難しい。</u> そのためにも多少補助金を充当したい。
活動継続維持の推進方法	現在、メンバーの <u>高齢化</u> で作業が困難
地区自治会等において、各地の状況等、里地里山の良さを伝える	地区住民の理解のもと、活性化に何か一步を
耕作放棄地の正しい把握	放棄地としないように、実際は耕していなくても年に1～2度耕運作業だけしている、ないしは他者に依頼している
特になし	現状のままで進行する予定であるから
ありません	

Q45 県の施策のコーディネーター制度を利用しようと思いませんか？

	数	割合 (%)	割合(2)%
1. はい	3	15.8	16
2. いいえ	6	31.6	32
3. 未回答	10	52.6	52
計	19	100.0	100
希望時期			
	数	割合 (%)	割合(2)%
1. 今すぐにでも利用したい	0	0	0
2. ○月頃	0	0	0
3. 未回答	3	100	100
計	3	100	100
相談内容			
ホテルの保存、周辺地の管理等			
行政とのパイプの役目をする人材が欲しい			
以前に利用したが、土日に頼めない、意見があまり反映されない、経費がかかる、報告書に費やすなどの負荷の方が大きく、進んでやる気にならない。			

里地里山の活動も15年が経ち、会員の高齢化により会員数が減少し、後継者の育成がままならない状況にある。

認定されて活動を始めて8年目になりますが、お陰様で名前が知られ実績もつく中で、本来の里地里山活動以外の仕事が市や自治会、他組織からも依頼が多くなっている。会員への負担軽減に努めているが、簡単に断ることも出来ずにいる。会員の出役日数も増えているが、草刈作業代等の自主財源費用により会員間の親睦に努めています。高齢化が進む中で、誰かが体調不良になり欠員となるのが一番心配である。

荒廃地の増加を減少させるためインフラ整備をしたい。現状、市の助成で農道等は現物支給で自分達仲間で整備事業を行っているが、すべての作業を施策要望したらお願いしたい。

3年前から耕作放棄地を田んぼに戻し米の生産を行っています。中古の機械を集め会員制にして会費6000円/年を頂き(米30Kg配布)、人件費ゼロでやっています。でも、米の生産では上手く利益になりません。これでは後継者はいません。しかし、定年でリタイアした人は働く意欲はあります。リタイアの人をもっと農業に従事させることこそ、今後の大切な方策です。

地域の森をもっと地元特産品(自然の木)を理解してもらえる場として活用できないかと考えている。

●現状、会の運営について、何とかなっているので当面このままで進めていきたいと思いません。

●今後の問題点について

- ・新規会員の発掘
- ・リーダーの養成と発掘
- ・活動資金の確保
- ・ユーコープとの連携がなくなったとき

・私たちはこの事業、活動を主たる職業、業務、仕事としてやっているわけではない。あまりにも定めが多すぎる。現状を考慮し、規制や規定だけに走らないで欲しい。

・報告書類の依頼、提出期限があまりにもタイト過ぎる。もう少し余裕を持った期限と、もっと簡素化した報告やアンケートにならないか。あなた方県職員のマトメ資料になっていませんか？

・当初は意気込みもあり、若かったこともあり突っ走れたが、高齢になると負荷が大きく辞めたいウエイトの方が強い？

・ボランティアも以前は無償で来てくれたが現在では大変少ないし、頼みにくいし気持ちよく来てくれない傾向。※以前に県で募集し対応する旨話が有ったが実施されていない。

・個人情報守秘義務で氏名や住所や電話番号など自由に掲載することができない。よく依頼があるが、行政のやり方は当たり前のように取れるが、そうではないですよ。

・アンケートもよいがポイントを絞って数少なく(現状の課題、対応できるもの)してほしい。※参考にしたら(方向性、結果)を期待します。こちらが欲しく、重要では？

・アンケートの要旨に書いてある内容のようにお願いします。期待しています。

当団体は丘陵とも呼ばれる地域に位置し、その広さは2,800ヘクタール、居住する人口約14,000人余りで小学校区は3区に分かれているところに活動している。

居住者はおおむね海拔30~400メートルの位置に定住し、穏やかな生活を送っている。地域活動は35団体の連携によってスムーズな生活基盤が成り立っている。ここに移(居?)住者との連携を深めるため、地域内の地区各種団体代表者会」が主体となり、「絆」を活動テーマとしてそば作り体験塾を開講し、6年目が終わった。当団体がそば作り体験塾の企画・立案をし、各種団体代表者会が事業主体となり各小・中学校に公募後約25家族とともに種まき・刈り取り・脱穀・そば打ち・試食を実施している。言い換えれば、当団体の企画に対して各種団体代表者会が主催となる実施方法が評価され、市民功労賞を受けた。

このような事業体系を確立することによって、当団体が地域住民の理解を深める結果となった。今後は従来の活動を中心により細かい活動を展開することによって居住者のいこいの場となるような里山を維持してゆきたいと考えている。

H31年度以降の活動エリアの縮小を検討中 (H31.3月末の協定更新時)

特になし